令和７年度 決算報告

問い合わせ　財政課財政担当

特別会計

特定の事業を行う場合、または特定の収入で事業を行う場合に、経理を他の会計と区別する必要があるため、法律や条例に基づいて設置している会計です。

日高市には、国民健康保険特別会計をはじめ、４つの特別会計があります。

特別会計の執行状況

会計名	収入額	うち一般会計からの繰入金	支出額
国民健康保険	58億　580万円	３億4,634万円	56億7,063万円
後期高齢者医療	11億2,571万円	２億　88万円	11億1,861万円
介護保険	49億8,340万円	７億3,986万円	48億7,307万円
武蔵高萩駅北土地区画整理事業	３億3,095万円	２億1,862万円	３億3,090万円
合　計	122億4,586万円	15億　570万円	119億9,321万円

公営企業会計

民間企業と同じように事業の収入で支出を賄う独立採算を原則とする会計です。日高市には、水道事業会計と下水道事業会計の２つの公営企業会計があります。

公営企業会計の執行状況

会計名	区分	収入額	支出額
水道事業	収益的収支	11億9,779万円	12億　593万円
	資本的収支	８億9,540万円	11億2,298万円
下水道事業	収益的収支	13億9,369万円	11億9,720万円
	資本的収支	６億5,421万円	９億9,630万円

収益的収支：給水や排水などの営業活動にかかる収入と支出
資本的収支：将来の給水や排水などに備えて施設や配（排）水管を整備するなど、設備投資にかかる収入と支出

健全化判断比率と資金不足比率

健全化判断比率（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率）および資金不足比率は、市の財政の健全化を判断する指標で、全国の自治体で算定が義務付けられています。

この比率が一つでも国が定めている早期健全化基準（公営企業会計では経営健全化基準）以上である場合は、財政の健全化計画を策定し、自主的に財政の健全化を図っていくことになります。

令和７年度決算では、全ての比率が早期健全化基準（経営健全化基準）を下回っており、市の財政の健全性に問題はありません。

健全化判断比率

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
日高市	—	—	5.9%	—
早期健全化基準	12.96%	17.96%	25.0%	350.0%

※「—」は赤字などがないため比率が算定されないことを示しています。

用語の説明
実質赤字比率……市の一般会計などの赤字の程度を示すもの
連結実質赤字比率…市の全ての会計における赤字の程度を示すもの
実質公債費比率……市の借入金返済額などにかかる実質的な財政負担の程度を示すもの
将来負担比率……借入金の残金など市が将来支払わなければならない負担の程度を示すもの

資金不足比率

公営企業会計名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業	—	20.0%
下水道事業	—	20.0%

※「—」は資金不足がないため比率が算定されないことを示しています。

用語の説明
資金不足比率……公営企業ごとの資金不足の状況を示すもの

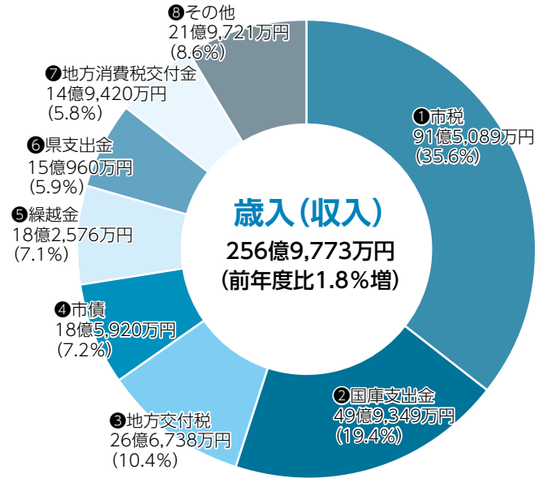
※金額の単位を「万円」にそろえているため、公表関係図書と異なる場合があります。
※市民１人当たりの額は、令和８年３月31日現在の人口５万3,586人を基に算出しています。

一般会計

一般会計の歳入は256億9,773万円、歳出が241億3,332万円で市制施行後２番目に大きな決算額となりました。

この結果、歳入歳出の差引残額は令和８年度へ繰り越した事業の財源を除き10億91万円の黒字となりました。

今後も、社会保障制度に係る経費や公共施設の整備費などの増加が見込まれることから、財政の健全性を保つために、歳入の確保や事務事業の効率化を図っていきます。



市民１人当たりの市税の負担状況を詳しく見ると…

市民税	固定資産税	軽自動車税
		
７万1,317円	８万2,179円	3,775円
市たばこ税	**都市計画税**	
		
7,034円	6,465円	

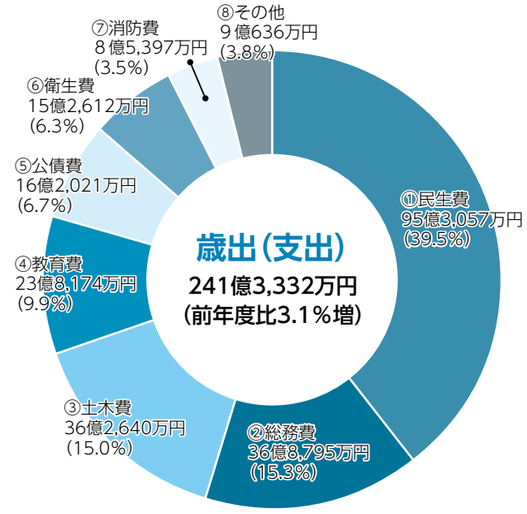
合計 17万770円

区分	用語の説明	１人当たり
❶市税	所得や資産などに応じて納める税金（市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税）	約17.1万円
❷国庫支出金	特定の事業に使うことを目的に国から交付されるお金	約9.3万円
❸地方交付税	地方公共団体間の税収などの財源の不均衡を調整し、全ての地方公共団体が一定の行政水準を維持できるように国から交付されるお金	約5.0万円
❹市債	主に道路や公共施設などを整備するために借り入れるお金	約3.5万円
❺繰越金	前年度純剰余金や前年度から本年度に繰り越された事業の財源となるお金	約3.4万円
❻県支出金	特定の事業に使うことを目的に県から交付されるお金	約2.8万円
❼地方消費税交付金	地方消費税のうち市町村に交付されるお金	約2.8万円
❽その他	繰入金、諸収入、使用料及び手数料などの合計	約4.1万円

※都市計画税は土地区画整理事業や、下水道の整備などの都市計画事業のために使いました。

市債の状況

令和７年度末における全会計の市債残高は…
236億7,382万円
昨年度末と比較すると…8,748万円の増加
市民１人当たりでは…**約44.2万円**



区分	用語の説明	１人当たり
①民生費	子ども、高齢者、障がい者などへの福祉にかかるお金	約17.8万円
②総務費	市庁舎、徴税、戸籍、選挙などにかかるお金	約6.9万円
③土木費	道路、公園、雨水排水の整備などにかかるお金	約6.8万円
④教育費	小・中・義務教育学校、生涯学習、スポーツ振興、図書館などにかかるお金	約4.4万円
⑤公債費	借り入れた市債の元金の返済および利子の支払いにかかるお金	約3.0万円
⑥衛生費	健康増進やごみ・し尿処理にかかるお金	約2.8万円
⑦消防費	広域消防、消防団、消火栓、防火水槽などにかかるお金	約1.6万円
⑧その他	諸支出金、商工費、議会費などの合計	約1.7万円

広告 庭悠 NIWAHARU 剪定・除草・伐採・抜根・植栽 その他造園工事承ります　090-4255-9673

広告 エネルギーと住まいと暮らしのワンストップサービス 都市ガス・LPガス・電気・ガス機器・リフォーム・水のトラブル・ハウスクリーニング・各種困りごと・空き家管理・不動産 日高都市ガス株式会社 日高市下鹿山473☎042-989-4041